

名古屋能楽堂 正月特別公演

能

「老松」(観世流)
シテ 清沢 一政

狂言

「八幡前」(和泉流)
シテ 奥津健太郎

能

「翁」(観世流)
シテ 久田 勘鷗
三番叟 野口 隆行



撮影：杉浦賢次

ご来場の方に抽選で
素敵なプレゼント!

本公演にご来場の方の中から
抽選で10名様に能楽グッズを
プレゼントします。

※ご入場の際にお配りするパンフ
レットに応募券が入っております
のでご確認ください。
(ご応募の締切は休憩終了まで)



平成27年 1月3日(土) 午後1時開演(12時30分開場)

※能「翁」開演後30分間は入退場できませんのでご注意ください。

【「秀吉と能」—のふにひまなく候—】

松竹鶴亀の齢を授くるこの君の 行末守れとわが神託の 告げを知らず松風も梅も久しき春こそめでたけれ—老松の神が大君に長寿を授け、永遠に続く御代を祈る能「老松」はこのような終わる。秀吉は、この能を少なくとも七度演じている。これは、お気に入りの能「源氏供養」と並んで最も多い演能である。

秀吉が能の稽古を始めた文禄三年(1593)、秀頼が生まれている。「老松」は稽古を始めて間もない秀吉が、この年に覚えた能十番のひとつでもあった。晩年の秀吉は、自らの長寿を願い、自分の血を継ぐ者に久しき繁栄をと祈りを込めて、老松の神を演じたのかもしれない。

主催

名古屋能楽堂

名古屋市文化振興事業団「名古屋能楽堂」

公益社団法人 能楽協会 名古屋支部

